

北村智恵

レッスンと演奏に役立つ ショパンまるごと講座

ショパン ポロネーズ 全曲講座

ショパンが「ポロネーズ」で 伝えたかったこと



今、ウクライナで起きている惨状は19世紀のポーランドそのままです——。友人達と共に銃を持って戦うことのできなかった病弱の彼が選んだ「亡命ポーランド人」としての生き方において、「マズルカ」と「ポロネーズ」を高度な「芸術作品」に昇華させ、外国の、しかも後世の人々にまで「ポーランド」という国名とその悲惨な歴史を伝えるのは、彼にとっての、生涯を貫く使命でした。しかしながら、民衆の悲喜こもごもを歌い語るマズルカと異なり、「ポロネーズ」は彼にとって簡単に書けるジャンルではありませんでした。当時のショパンにとってポロネーズは、単なる舞曲ではなく、ポーランド国家の威信やあるべき姿の象徴だったからです。今回、そんなショパンの思いが詰まったポロネーズ（出版作品全7曲）の講座を開講いたします。ショパンの全作品を「弾く」「聴く」ということは、そういうことだったのだ、と気づき合うショパンまるごと連続講座の最終回となります。是非とも御参加ください。

会場

カワイ梅田 コンサートサロン “ジュエ”

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル1階 TEL06-6345-8300
大阪駅・梅田駅より徒歩5～10分

テキスト

PWMショパン全集(エキエル版)
Aシリーズ 6 POLONEZY
※日本語版は未出版

参加費・受講料

全納 6講座24,000円(税込)
分納 3講座12,000円(税込)×2回

2024

2.16

◆ 金 ◆ 開講

◆ 全6講座
毎月1回第4金曜日 10:30～12:30
(初回のみ第3金曜日)

講師 北村智恵

音楽教育家。主な仕事は、ピアノ指導、楽譜の監修・校訂、作・編曲等。CDの楽曲解説やコンサートのプログラムノート、新聞、音楽雑誌への執筆も三十数年におよぶ。相愛大学にて「ピアノ教授法」「音楽学演習」を担当し、二十余年間、後進の指導にあたる。また長年、全国各地でピアノ指導者のための講座・公開レッスンの講師を務め現在に至る。相愛大学在学中より三十数年にわたり故・佐藤允彦氏（ポーランド国家文化功労賞受賞、ショパン作品の研究に多大な功績を残したショパン研究の第一人者）に教えを受け、独自の研究を続け現在に至る。大阪府文化振興財団主催「セミナーコンサート」の講師を9年間務め、その後、ショパン・ピアノ作品全曲レクチャーコンサートの講師も10年近く務めて好評を得る。「ムジカノーヴァ」別冊『ショパンとその音楽』、'04年6・7月号特集『实用ショパン講座（前・後編）』、「レッスンの友」ショパン生誕二百年記念連載『ショパンの実像』（'09年12月号～'11年12月号）など、ショパンに関する音楽雑誌への執筆も多い。音楽の友社刊『ショパンへの道』、「プロの常識・ピアノを教えるための全10章」、「ステップ・トゥバツハインヴェンション」をはじめ、書籍、ピアノ曲集等、著書多数。日本ピアノ教育連盟会員。日本ショパン協会関西支部長、理事。



お申し込み・お問合せ先

ムジカ工房 大阪府高槻市松が丘2-7-22 tel:072-689-0727/fax:072-687-0314

e-mail:info@musicakobo.com/hp:musicakobo.com

主催:ムジカ工房 後援:ちえの輪倶楽部 協力:カワイ梅田



polonez